

北九州市立図書館協議会
「これからの図書館サービスのあり方について」答申について
(経過報告)

1 図書館協議会及び答申の位置付け

図書館協議会：図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。(図書館法第14条第2項)



図書館は、答申及び提案された内容を尊重し、基本的な指針として、図書館行政を行っている。

2 今回諮問の概要

(1) 諮問の内容

前回答申から6年が経過し、この答申に基づく施策や事業については大部分が着手または達成している。

また、少子・高齢化や情報化の急激な進展、図書館サービス等に対する市民ニーズの高度化・多様化など図書館を取り巻く環境は大きく変化していることから、中央図書館長から、北九州市立図書館協議会に対して、「これからの図書館サービスのあり方」について諮問したもの。

(2) 諮問の時期 平成27年3月

(3) 検討の経緯及び今後のスケジュール

| | |
|---------------|---|
| 平成27年6月～ | 図書館協議会で4回審議 |
| 平成27年10～12月 | 市民アンケート調査を実施 |
| 平成28年6月16日 | 議会(常任委員会)にて審議の経過報告 |
| 平成28年6月22日 | 図書館協議会にて「これからの図書館サービスのあり方について」答申(素案)の審議 |
| 平成28年7～8月(予定) | 図書館協議会にて最終答申 |

北九州市立図書館協議会委員

| 区 分 | 氏 名 | 所属団体役職名 | 備 考 | |
|---------|---------------------------|-------------------------------------|---------------|--|
| 学校教育関係者 | まつお たかし 松尾 太加志 | 北九州市立大学図書館長 | 会長 | |
| | せとう さなえ 瀬藤 早苗 | 北九州市学校図書館協議会副会長 松ヶ江南小学校校長 | 副会長 | |
| | えぐち けいこ 江口 恵子 | 北九州市学校図書館協議会会長 熊西中学校校長 | | |
| | しまうら かずひろ 島浦 一博 | 九州国際大学図書館長 | | |
| | こたに ひろし 固谷 寛 | 福岡県公立高等学校長協会北九州地区会長 福岡県立小倉高等学校校長 | | |
| | なかた としずみ 中田 俊澄 | (一社) 北九州市私立幼稚園連盟副会長 | | |
| | 家庭教育の向上に 資する活動を行う 者 | あかみね としあき 赤峰 稔朗 | 北九州市PTA協議会副会長 | |
| | | しらいし ゆうこ 白石 裕子 | 公募委員 | |
| | | たにのくち ひろみ 谷之口 博美 | 公募委員 | |
| 社会教育関係者 | | みやもと かずよ 宮本 和代 | 北九州市社会教育委員 | |
| | あべ よしみ 阿部 芳美 | 北九州市婦人団体協議会理事 | | |
| | ほりかわ ひでお 堀川 英男 | 北九州市AVEの会本部事務局長 | | |
| 学識経験者 | しばはら かよこ 柴原 佳代子 | 北九州児童文化連盟委員 | | |
| | きたの くみ 北野 久美 | (一社) 北九州市保育所連盟副会長 | | |
| | すえまつ みお 末松 美緒 | (一社) 北九州青年会議所委員 | | |
| | おおつぼ かずひろ 大坪 和弘 | 日本放送協会北九州放送局副部長 | | |

任 期 平成26年12月1日から平成28年11月30日まで

「これからの図書館サービスのあり方について」答申の構成 (案)

これからの図書館サービスのあり方における基本的な方向性

地域の「知の拠点」
として図書館を活用

- 1 これまでの図書館サービス（図書・資料の閲覧・貸出、レファレンス機能、情報サービスなど）をさらに充実させる。
 - 2 市民が抱える課題の解決を支援する。
 - 3 子どもの読書活動を積極的に推進していく。
- ⇒ 3つの基本的な方向性を目指していくために、図書館職員や地域の人材など、これらの役割を担う人材の能力向上を図る。

基本的な方向性を目指していくためには、以下の5つの視点から、具体的な事業を実施する。

1 現状

平成21年3月に図書館協議会が答申した「これからの図書館のあり方について」を基本的な指針として位置づけ、以下の基本的な視点にたつて、59事業のうち、58事業について着手または完了した。

- 1 図書館ネットワークの構築
- 2 市民の学びに役立つ図書館
- 3 次世代の育成を支援する図書館
- 4 誰もが使いやすく、情報や人が交流する図書館
- 5 市民参加型図書館

2 国、北九州市等の動向

- 図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月文部科学省）
「連携・協力」「住民の抱える課題に対応したサービス」「利用者に対応したサービス」
- 学校図書館法改正（平成27年4月1日施行）
「学校司書」を法で位置づけ、学校司書の配置と研修を努力義務とした。
- 北九州市子ども読書活動推進条例（平成27年7月3日施行）
・子ども図書館の整備
- 北九州市生涯学習推進計画を策定（平成28年度～32年度）
「従来型の機能・サービスに加えて、地域の発展を支える情報拠点に相応しい新たな図書館機能の充実に努める。」
- 北九州市子ども読書プランの策定（平成28年度～32年度）
- 北九州市文化振興計画 ○北九州市公共施設マネジメント実行計画 など

3 市民のニーズ

- アンケート調査（一般市民・図書館利用者・高校生）
・健康・医療、福祉・介護・年金、子育て・教育などの課題解決に関して高い要望がある。
- ・蔵書（図書）の充実、読書スペースの充実などの要望が高い。
- ・インターネット予約など、一部の図書館サービスに対する認知度が低い。 など

【視点1】 多様な施設とつながる図書館

文化施設や大学、市民センターなどの施設と連携して事業を行いながら、様々な情報の発信・共有の場となる図書館を目指す。
(主な事業) ・文化施設の情報発信 ・大学図書館との連携
・地元ゆかりの作家作品の充実 ・ひまわり文庫の充実 など

【視点2】 市民の課題解決を支援する図書館

市民が抱える課題解決の支援を行うとともに、地域の特性などを活かした図書館を目指す。
(主な事業) ・レファレンス担当職員の能力向上 ・郷土資料の充実
・課題解決支援のための分野別配架と講演会などの実施 など

【視点3】 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

子ども図書館を整備するなど、子どもが本に接する機会を多く設けるとともに、学校における読書活動を支援し、子どもの読書活動を積極的に推進する図書館を目指す。
(主な事業) ・子ども図書館の整備 ・「はじめての絵本事業」の推進
・学校関係者（教員・学校図書館職員など）の人材育成支援 など

【視点4】 誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館

インターネット環境の整備など、情報化に対応するとともに、市民のニーズに応じたサービスを提供し、誰もが使いやすく親しみやすい図書館を目指す。
(主な事業) ・Wi-Fiの整備 ・図書館以外での本の返却
・くつろいで読書のできる環境の充実 など

【視点5】 市民参画型図書館

ボランティアなどを幅広く育成するなど、図書館の運営や子どもの読書活動に市民が主体的に関わるように、市民参画型の図書館を目指す。
(主な事業) ・読み聞かせボランティア養成講座の充実 ・ブックヘルパーの人材育成支援
・読み聞かせボランティアバンクの充実 など

具体的な事業の一覧

| 大項目(視点) | 中項目 | 小項目(具体的事業) |
|-------------------------|--------------------|---|
| 1 多様な施設とつながる図書館 | (1) 文学館などの文化施設との連携 | 新 ① 文化施設の情報発信 新 ② 最寄りの文化施設の情報発信 新 ③ 地元ゆかりの作家作品の充実 新 ④ 文化施設とのネットワークの構築 |
| | (2) 他施設との連携 | ⑤ 大学図書館との連携 ⑥ 大学との連携 ⑦ ネットワーク(連携)機能の充実 |
| | (3) 身近なネットワークの構築 | 新 ⑧ 市立図書館における観光情報などの提供 ⑨ ひまわり文庫の充実 新 ⑩ 貸出文庫登録施設数の増加 |
| 2 市民の課題解決を支援する図書館 | (1) レファレンスの強化 | ① 相談内容のデータベース化 ② レファレンス担当職員の能力向上 ③ レファレンス用図書・資料の充実 |
| | (2) 特色ある図書館づくり | 新 ④ 課題解決支援のための分野別配架と講演会などの実施 新 ⑤ 地域の特性などを活かした図書館づくり 新 ⑥ 郷土資料の充実 【再掲】最寄りの文化施設の情報発信(視点1②) 【再掲】地元ゆかりの作家作品の充実(視点1③) 【再掲】市立図書館における観光情報などの提供(視点1⑧) |
| 3 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館 | (1) 子どもの読書活動の推進 | 新 ① 子ども図書館の整備 新 ② 子ども図書館における子育て・家庭教育支援用などの図書・資料の充実 新 ③ 「はじめての絵本」事業の実施 ④ 絵本の読み聞かせ、おはなし会などの実施 新 ⑤ 図書館における子ども向け相談窓口の充実 ⑥ 調べ学習用図書・資料及び「調べ方マニュアル」の充実 ⑦ ヤングアダルト向け図書・資料の充実 ⑧ 家読(うちどく)の推進 新 ⑨ 地域人材の育成 新 ⑩ 図書館職員の育成 新 ⑪ 地区図書館における区役所や市民センターなどとの連携 【再掲】地元ゆかりの作家作品の充実(視点1③) |
| | (2) 学校における読書活動の支援 | ⑫ 学校向け団体貸出の拡充 ⑬ 学校貸出図書セットの拡充 ⑭ 図書館司書や読み聞かせボランティアの学校などへの派遣 新 ⑮ 学校関係者(教員、学校図書館職員など)の人材育成支援 ⑯ 子ども司書の養成と活用 ⑰ 小・中・特別支援学校児童生徒の読書感想文募集の実施 ⑱ 小・中学校との連携 |
| 4 誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館 | (1) 情報化への対応 | ① Wi-Fiの整備 ② 中央図書館、地区図書館、子ども図書館におけるホームページの充実 ③ 郷土資料のデジタル化への検討 |
| | (2) ニーズに応じたサービスの提供 | ④ 高齢者などあらゆる人が利用しやすいサービスの充実 ⑤ 子ども用トイレや授乳室の設置 新 ⑥ 図書館以外での本の返却 ⑦ CD、DVD資料の貸出とその充実 ⑧ 学習活動の場、設備、図書・資料などの提供 |
| | (3) 親しみやすい図書館づくり | 新 ⑨ くつろいで読書のできる環境の充実 新 ⑩ 市立図書館への来館のきっかけづくりの提供 |
| 5 市民参画型図書館 | (1) ボランティアの育成と活用 | ① 読み聞かせボランティア養成講座の充実 ② 図書館ボランティアの育成 新 ③ ブックヘルパーの人材育成支援 ④ 読み聞かせボランティアバンクの充実 【再掲】地域人材の育成(視点3⑨) |
| | (2) 開かれた図書館づくり | ⑤ 時代に即した図書館づくりを推進するための図書館協議会の充実 ⑥ 運営に関する評価の実施 |

これからの図書館サービスのあり方に関するアンケート

(1) 市民アンケートの実施概要

今回、「これからの図書館サービスのあり方について」検討するにあたり、一般市民、図書館利用者、高校生を対象に、読書の実態や図書館利用の状況、望まれる機能などについて、アンケートを実施しました。

【アンケートの概要】

| 区分 | 対象 | 実施数 | 回答数 | 実施期間 |
|---------------|---------------------|--------|-----------------|----------------------|
| 一般市民 | 20歳以上の北九州市民（無作為郵送） | 3,000人 | 776人 (25.9%) | H27.10.26 ～ 11.13 |
| 図書館利用者 | 市立図書館（17館） | 439人 | 439人 | H27.10.28 ～ 11.20 |
| 高校生 （各区1校） | 公立高校7校 （各2学年1学級） | 265人 | 265人 | H27.10.29 ～ 12.2 |

(2) アンケート結果からわかる図書館の利用実態

ア 読書の実態（読む冊数、調べものをするときの方法）

| 区分 | 読む冊数 | 調べものをするときの方法 |
|--------|---|---|
| 一般市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・「月1～3冊」が50.4%と最も高く、次いで「0冊（読まない）」が29.0%と高い。 ・年齢別では、40歳代と50歳代は他の年齢層と比較して、本を読む人の割合がやや高い傾向。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットを利用する」が64.8%と最も高い。 ・「本や雑誌で調べる」場合の本の入手方法は、「購入する」が61.8%と最も高く、次いで「閲覧や借用する」が32.8%と高い。 |
| 図書館利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・「月10冊以上」が39.0%と最も高く、全体の7割以上が4冊以上を読む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットを利用する」が51.9%と最も高い。 ・「本や雑誌で調べる」場合の本の入手方法は、「閲覧や借用する」が83.2%と最も高い。 |
| 高校生 | <ul style="list-style-type: none"> ・「月1～3冊」が54.7%と最も高く、次いで「0冊（読まない）」が34.7%と高い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットを利用する」が86.8%と最も高い。 ・「本や雑誌で調べる」場合の本の入手方法は、「閲覧や借用する」が62.2%と最も高い。 |

イ 図書館利用の実態

| 区分 | 図書館利用の実態 |
|--------|---|
| 一般市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・この1年間、市立図書館を「利用したことがある」は、47.7%。 〔利用図書館の状況〕 ・図書館の利用用途は、「借用又は返却」が61.9%と最も高い。 ・図書館を選んだ理由は、「自宅から近い」が68.3%と最も高く、主な利用交通機関は、「自家用車」が53.1%と最も高い。 ・図書館の利用回数は、「月に1、2回程度」が50.0%と最も高く、平均滞在時間は、「30分～1時間未満」が43.9%と最も高い。 ・借用した本の返却方法は、「借用した図書館と同じ図書館の窓口」が89.3%と最も高い。 |
| 図書館利用者 | <ul style="list-style-type: none"> 〔利用図書館の状況〕 ・図書館の利用用途は、「借用又は返却」が84.3%と最も高い。 ・図書館を選んだ理由は、「自宅から近い」が65.6%と最も高く、主な利用交通機関は、「自家用車」が41.5%と最も高い。 ・図書館の利用回数は、「週に1、2回程度」が49.2%と最も高く、平均滞在時間は、「30分～1時間未満」が45.3%と最も高い。 ・借用した本の返却方法は、「借用した図書館と同じ図書館の窓口」が94.5%と最も高い。 |
| 高校生 | <ul style="list-style-type: none"> ・この1年間、市立図書館を「利用したことがある」は、67.5%。 〔利用図書館の状況〕 ・図書館の利用用途は、「学習室の利用」が70.4%と最も高い。 ・図書館を選んだ理由は、「自宅から近い」が73.7%と最も高く、主な利用交通機関は、「自転車」が33.5%と最も高い。 ・図書館の利用回数は、「月に1、2回程度」が38.5%と最も高く、平均滞在時間は、「半日くらい」が41.3%と最も高い。 ・借用した本の返却方法は、「借用した図書館と同じ図書館の窓口」が81.7%と最も高い。 |

ウ 図書館を利用しない理由

| 区分 | 図書館を利用しない理由 |
|------|--|
| 一般市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・「借りたり、返したりするのが面倒」45.6%、「図書館に行く時間（暇）がない」40.0%、「読みたい本は書店等で購入しているので行く必要がない」35.4%の順。 ・年齢別では、40、60歳代は「借りたり、返したりするのが面倒」が、20、30、50歳代は「図書館に行く時間（暇）がない」が1位。 |

| | |
|-----|--|
| 高校生 | <ul style="list-style-type: none"> ・「図書館に行く時間（暇）がない」67.9%、「借りたり、返したりするのが面倒」27.9%、「インターネットを利用して調べ物をしているので行く必要がない」27.9%、「図書館が近くにない」26.7%の順。 |
|-----|--|

(3) アンケート結果からわかる図書館に対するニーズ

ア 図書館サービスの認知度

| 区分 | 図書館サービスの認知度 |
|--------|--|
| 一般市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットによる蔵書検索」41.1%、「返却フリー制度（市内のどの図書館でも図書のリターンが可能）」29.3%、「ブックリサイクル（図書館で不要となった本や雑誌を無料で配布）」26.0%の順。 ・年齢別では、20～60 歳代は「インターネットによる蔵書検索」が1位。 |
| 図書館利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・「返却フリー制度（市内のどの図書館でも図書のリターンが可能）」79.7%、「インターネットによる蔵書検索」73.6%、「ブックリサイクル（図書館で不要となった本や雑誌を無料で配布）」69.9%の順。 |
| 高校生 | <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットによる蔵書検索」67.9%、「図書館・読み聞かせボランティア養成講座」40.0%、「返却フリー制度（市内のどの図書館でも図書のリターンが可能）」23.4%の順。 |

イ 地域や個人の課題解決のため、充実を望む分野

| 区分 | 地域や個人の課題解決のため、充実を望む分野 |
|--------|--|
| 一般市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・「健康・医療」55.3%、「福祉・介護・年金」44.8%、「仕事を進める上での能力アップ（パソコン、英会話等）」29.1%、「子育て・教育」27.4%、「相続・遺言・終活」26.2%の順。 ・年齢別では、20 歳代は「就職・転職」が、30 歳代は「子育て・教育」が、40～70 歳代以上は「健康・医療」が1位 |
| 図書館利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・「健康・医療」59.9%、「福祉・介護・年金」40.3%、「子育て・教育」38.0%、「仕事を進める上での能力アップ（パソコン、英会話等）」23.0%、「相続・遺言・終活」18.5%の順。 |
| 高校生 | <ul style="list-style-type: none"> ・「就職・転職」49.8%、「仕事を進める上での能力アップ（パソコン、英会話等）」38.5%「健康・医療」33.2%、「子育て・教育」33.2%、「ビジネスに関すること（起業、経営等）」13.2%の順。 |

ウ 開館時間の延長に対する意識

| 区分 | 開館時間の延長に対する意識 |
|--------|--|
| 一般市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間を延長する場合、「利用する」19.6%、「利用しない」31.8%、「利用するかどうかわからない」42.1%。 ・希望する延長時間は、「午後8時まで開館」が48.7%と最も高く、利用用途は、「借用又は返却」が53.9%と最も高い。 |
| 図書館利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間を延長する場合、「利用する」27.3%、「利用しない」43.1%、「利用するかどうかわからない」28.0%。 ・希望する延長時間は、「午後8時まで開館」が54.2%と最も高く、利用用途は、「借用又は返却」が67.5%と最も高い。 |
| 高校生 | <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間を延長する場合、「利用する」47.5%、「利用しない」18.5%、「利用するかどうかわからない」33.2%。 ・希望する延長時間は、「午後9時まで開館」が64.3%と最も高く、利用用途は、「学習室の利用」が81.7%と最も高い。 |

エ 今後、図書館に必要なと思うもの

| 区分 | 今後、図書館に必要なと思うもの |
|--------|--|
| 一般市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・「蔵書の充実」32.9%、「読書スペース（椅子等）の充実」30.9%、「図書館以外（公共交通機関の駅等）での本の返却」23.8%、「視聴覚資料（CD、DVD等）の貸出及びその充実」19.2%、「テーマごとに本を並べる等の工夫」17.0%、「講演会やイベント等の充実」16.6%、「ネットワーク環境（Wi-Fi等）の充実」16.5%の順。 ・年齢別では、20歳代は「ネットワーク環境（Wi-Fi等）の充実」が、30歳代は「読書スペース（椅子等）の充実」が、40～70歳代以上は「蔵書の充実」が1位。 |
| 図書館利用者 | <ul style="list-style-type: none"> ・「蔵書の充実」61.3%、「読書スペース（椅子等）の充実」32.1%、「視聴覚資料（CD、DVD等）の貸出及びその充実」22.1%、「講演会やイベント等の充実」21.2%、「テーマごとに本を並べる等の工夫」14.6%、「ネットワーク環境（Wi-Fi等）の充実」13.0%の順。 ・年齢別では、全ての年代で「蔵書の充実」が1位。 |
| 高校生 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ネットワーク環境（Wi-Fi等）の充実」53.6%、「読書スペース（椅子等）の充実」50.6%、「蔵書の充実」30.2%、「視聴覚資料（CD、DVD等）の貸出及びその充実」15.5%、「テーマごとに本を並べる等の工夫」12.8%の順。 |